# 陳　情　文　書　表

| 受理番号 | 陳　情　第　６０　号 |
|---|---|
| 件　　名 | 地域の見守り活動の取り組みについて |
| 要　　旨 | 友愛訪問者リストは民生委員しか知りません。民生委員がいないとき，災害発生時，どう声がけするのか心配です。避難難民が発生します。誰の責任なのか心配です。<br>市も社会福祉協議会もお互いの情報を共有，活用し，町内自主防災組織に案内してほしいです。<br>市の自主防災は，個別避難支援計画策定率60.7％です。（平成27年４月１日現在）名前のみの組織だと思います。<br>社会福祉協議会の友愛訪問者リストは民生委員が決定し，月１回見守り活動をしています。なぜ，市の要援護登録者は見守りを受けられないのか。身体障がい者，要介護者，地域で住民が不安がっています。早急に見守り活動を指示するよう以下について陳情いたします。<br><br>記<br><br>１　市の災害時要援護登録者と社会福祉協議会の友愛訪問登録者については，民生委員だけではなく，市，町内自主防災組織，社会福祉協議会等に情報をお互いに活用，共有できるようにすること。<br><br>２　市の災害時要援護登録者に対して社会福祉協議会の友愛訪問と同じように，民生委員が月１回見守りをすること。 |
| 付託年月日<br>委員会 | 平成 28 年６月 14 日　第１項 第２項 ｝ 市民厚生常任委員会 |
| 受　　理 | 平成 28 年５月９日　第４６号 |